

立山あおく特等席。富山市

富山市

スマートシティ推進 プロジェクト研究

参加者
募集

2023年7月開講 募集要項

立山あおく特等席。富山市



学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学

富山市スマートシティ推進プロジェクト研究

持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。
気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

富山市スマートシティ推進プロジェクト研究では、

- ・富山市域の発展に寄与する自社の新規事業を構想します。
- ・事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- ・SDGsやDXなど最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新たな顧客価値を創造します。
- ・異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- ・9ヶ月間（2023年7月～2024年3月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。



富山市長 藤井裕久

本市では、昨年11月に「富山市スマートシティ推進ビジョン」を策定し、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを継続・深化させるとともに、デジタル技術やデータの利活用により様々な地域課題を解決することで、市内のどこに住んでいても普段の生活に不便さを感じることなく、また、安全・安心で誰もが豊かさや暮らしやすさを実感できるよう、スマートシティ政策を推進してまいりたいと考えております。

本市の目指す富山市版スマートシティの実現に向け、このプロジェクト研究を通じて、官民が連携し共創することで、ビジョンに資する本市の地域実情に沿った新事業が創出されることを期待しております。

富山市スマートシティ推進プロジェクト研究

富山市スマートシティ推進プロジェクト研究の全体概要

新事業の開発を行う9ヶ月間の研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う9ヶ月間の研究会です。

1人の担当教授と10人の研究員

研究会は、原則10人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

9ヶ月間で20回開催

定例の研究会は、9ヶ月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業創出を支援していきます。

「研究員」という資格を付与

プロジェクト参加者は、事業構想大学院大学附属の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。



事業構想大学院とは

新事業の開発を目的としたカリキュラムを実施する大学院大学。教授陣がイノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。顧客開発や経営・構想計画について学び、経営資源を活用した実現性と独自性の高い事業計画を構築します。

本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、フィールドリサーチ、事業構想計画、コミュニケーションなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となったプロジェクトを9ヶ月間執り行います。



富山市スマートシティ推進プロジェクト研究

富山市スマートシティ推進プロジェクト研究 4つの特徴

1：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

2：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

3：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

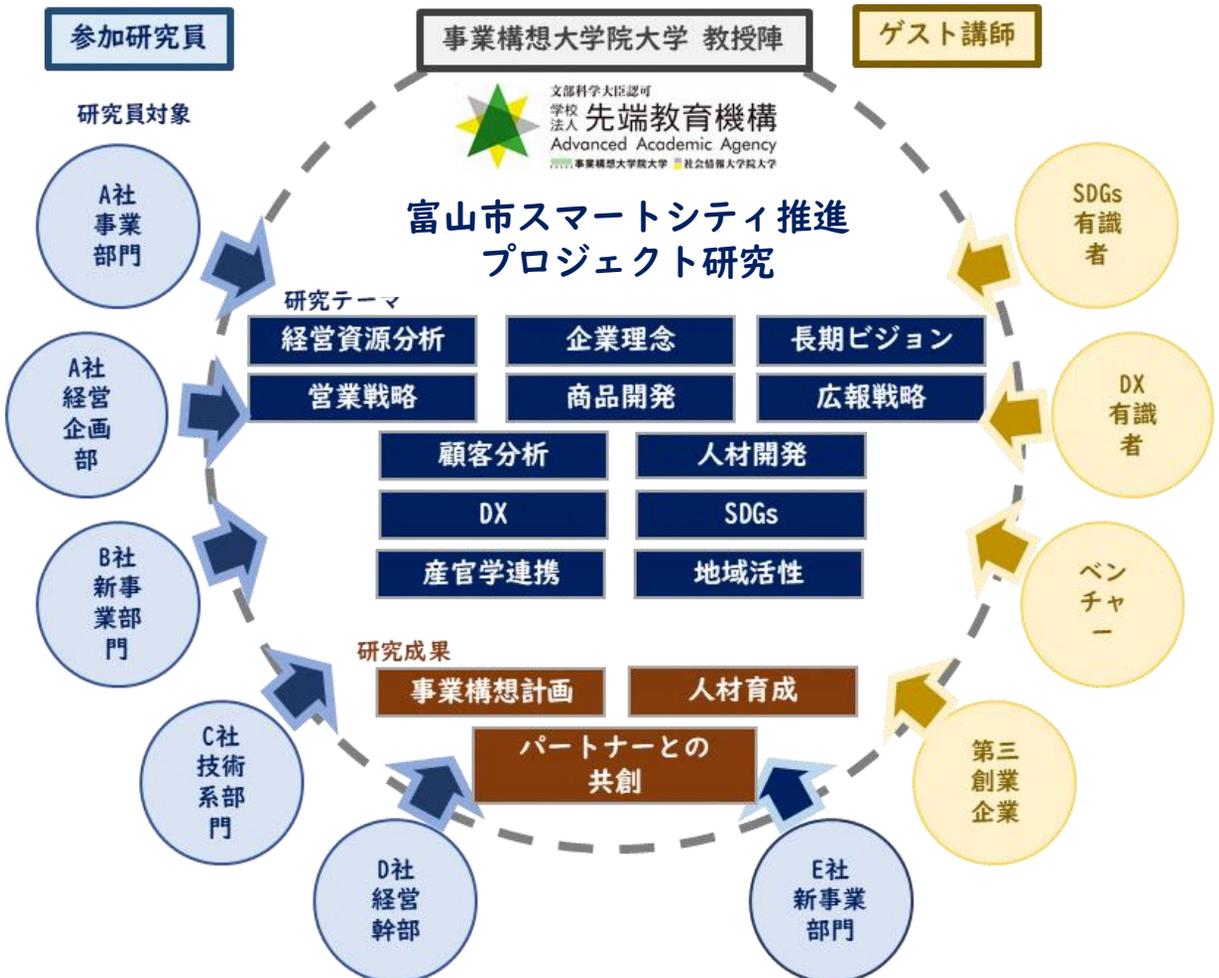
本学がネットワークを有する、SDGsやDXなどの最先端分野における第一人者（官公庁・有識者・実践者・学者・起業家）から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

4：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。

プロジェクト研究とは

事業構想大学院大学（事業構想修士課程）のエッセンスを活かし、新規事業開発と人材育成を支援するプログラム



研究会のイメージ

事業構想計画書

プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社の事業構想計画を策定します。

事業構想計画書作成

- ・ 各研究員が、1点以上策定する。
- ・ 富山市域の発展に寄与する自社の計画書を作成する。
- ・ 構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想

概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想

コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画

販売構想（チャンネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想

組織・人事構想

5. 資金構想計画

概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略

プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

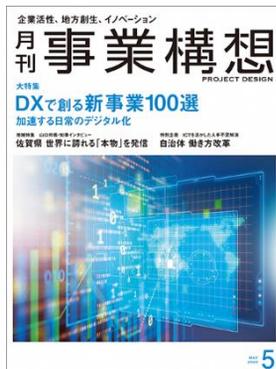
7. 想定される障害と対策

8. スケジュール



最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

サポート体制

●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクト研究に招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

事業構想スピーチ（任意参加）

- 毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

ネットビジネス
リーダー

都市計画・建築家

最先端分野研究者

最先端企業経営者

地域活性 実践者

社会起業家

クリエイター

哲学者

ブランド
マネージャー

過去の登壇例



藤田 晋

サイバーエージェント
代表取締役社長



おち まさと

プロデューサー



増田 宗昭

カルチュア・コンビニエンス
・クラブ
代表取締役社長



角 和夫

阪急阪神ホールディングス
代表取締役会長



コシノ ジュンコ

ファッションデザイナー



笹本 裕

Twitter Japan
代表取締役



谷田 千里

タニタ
代表取締役社長



出雲 充

ユーグレナ
代表取締役社長



長谷部 健

渋谷区長



渡部 一文

アマゾンジャパン
バイスプレジデント

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。

◎研究員証



◎名刺



◎個別相談



◎事業構想スピーチ（年40回開催）



◎他プロジェクト研究との共同研究会



◎アルムナイネットワーク



◎大学院環境（図書館・サロン）の活用



◎オンラインデータベース・アーカイブの活用



募集概要

プロジェクト期間

全20回、実施期間：2023年7月～2024年3月 各回半日程度（詳細は別ページ参照）

募集人数

7名程度

※募集人数を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、6月30日（金）までにご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

※募集人数のほか、富山市職員が3名程度参加し、10名の研究会となります。

会場

Sketch Labなど

オンライン参加も可能です

対象

- ・ 自社の経営資源や自身の技術を活用して、富山市域の発展に寄与する新事業の創出を目指す企業等
- ・ 富山市をよりよくしたいという熱い想いを持っている方
- ・ 新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業等※
- ・ 人脈や技術など、自社の経営資源を再定義し新事業を創出したい方
- ・ 今後、社内の中核となっていく幹部候補の方 など

※業種や企業規模は問いません。個人事業主も可能です。

※研究期間を通して9割以上の日程に出席できる方が参加可能です。

※各社からの参加は、1名程度（役職不問）としてください。

申込期限

締め切り：2023年6月11日（日） 申込書類必着

申込方法

申込書類一式（申込書、個人調書）を、以下担当宛に電子メールで提出

【送付先】学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 名古屋校

「富山市スマートシティ推進プロジェクト研究」担当宛

メールアドレス：pjl@mpd.ac.jp

研究参加費

無料

※交通費、宿泊費等は研究員もしくは所属企業負担となります。

共催

主催：富山市

受託：学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学



松行 輝昌 (まつゆき てるまさ)

事業構想大学院大学 教授

横浜国立大学講師、大阪大学学際融合教育研究センター准教授、全学教育推進機構准教授、共創機構イノベーション戦略部門人材育成室長・特任准教授などを歴任。2023年1月より大阪大学招へい教授。イノベーション、アントレプレナーシップ、リーダーシップ教育に加えてスタートアップ支援を行っている。アクティブラーニングを積極的に行い、学生が本づくりを行うショセキカプロジェクトでは学生が企画した『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』（日経ビジネス人文庫、2019年）が出版された。建築家との集合住宅プロジェクト、商店街活性化プロジェクト、地域活性化プロジェクトや衛生工学研究者、国際NGOとのメンバー中央乾燥地域でのソーシャルビジネスプロジェクトなど異分野のプロフェッショナルとの共創を実践してきた。第21回日本地域学会学会賞、大阪大学総長顕彰、大阪大学賞など受賞多数。2018年度日本建築学会設計競技審査員。

『地域社会圏主義』LIXIL出版 2012年（共著）

『ソーシャルイノベーション』丸善出版 2011年（共著）

”Nurturing entrepreneurs: How do technology transfer professionals bridge the Valley of Death in Japan?”
Technovation 2020（共著）

“University-Industry collaborative entrepreneurship education program as a trading zone”
Technology Innovation Management Review 2018（共著）

「空間デザインと知識」ナレッジ・マネジメント研究 2016年

「地域医療連携における知識コミュニティの形成とアントレプレナーによる価値創造」

ナレッジ・マネジメント研究年報 2013年

「ハイテク産業集積の新しいモデル - ユタ大学の事例」地域学研究 2012年

富山市スマートシティ推進プロジェクト研究カリキュラム

日程：2023年7月～2024年3月

会場：下記参照（会場の詳細は、参加確定後にご案内いたします）

回	月/日	目標	プログラム	開催場所	備考
1	7/13	13:00～17:00	▷オリエンテーション ▷事業構想概論(事業構想サイクル)	▷事業構想とは何か ▷プロジェクト研究の進め方 ▷チームビルディング	Sketch Lab
2	7/26	13:00～17:00	▷コンセプトメイキング1	▷デザイン思考概論 ▷共感 ▷顧客インサイト	Sketch Lab
3	7/27	13:00～17:00	▷コンセプトメイキング2	▷トレードオフの発見と課題の設定 ▷課題解決案の創出 ▷マインドセット	Sketch Lab
4	8/3	13:00～17:00	▷コンセプトメイキング3	▷仮説の検証 ▷リフレーミング ▷イノベーションと認知心理学	Sketch Lab
5	8/24	13:00～17:00	▷社会動向と事業構想	▷社会課題の背後にある歴史や構造の理解 ▷比較制度分析/戦後日本経済システム/制度的補完性/経路依存性 ▷富山における地域イノベーションのケーススタディ	Sketch Lab
6	8/31	13:00～17:00	▷フィールドリサーチ	▷フィールドリサーチ概論 ▷仮説検証の方法 ▷顧客インタビュー	Sketch Lab
7	9/7	13:00～17:00	▷システム思考/社会課題の認識	▷社会課題の俯瞰 ▷シリアスゲームデザイン ▷自身のリフレクション/メタ認知	Sketch Lab
8	9/21	13:00～17:00	▷地域イノベーション	▷地方創生の知識 ▷具体的な地域課題の検討	Sketch Lab
9	10/12	13:00～17:00	▷富山市のケーススタディ	▷富山における地域イノベーションの事例を学ぶ ▷空間デザインによる地域イノベーションなど多様なアプローチを知る	Sketch Lab
10	11/2	13:00～17:00	▷中間発表	▷多様な視点からのディスカッション ▷構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ	Sketch Lab
11	11/9	13:00～17:00	▷ビジネスモデル1	▷ビジネスモデルの基本 ▷価値の交換 ▷顧客課題・業界課題・社会課題	Sketch Lab
12	11/30	13:00～17:00	▷ビジネスモデル2	▷ビジネスモデルキャンパス ▷収益のモデル	Sketch Lab
13	12/7	13:00～17:00	▷ビジネスモデル3	▷リーンスタートアップ ▷エフェクチュエーション ▷イノベーションの普及理論	Sketch Lab
14	12/21	13:00～17:00	▷マーケティング	▷マーケティングの基礎 ▷1→10→100のビジネスグロースのためのマーケティング/ブランディング	Sketch Lab
15	1/11	13:00～17:00	▷事業構想計画立案・ディスカッション・講評	▷多様な視点からのディスカッション ▷構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ	Sketch Lab
16	1/25	13:00～17:00	▷ファイナンスと収支計画	▷ファイナンスの基本 ▷収支計画の考え方	Sketch Lab
17	2/8	13:00～17:00	▷プレゼンテーション	▷プレゼンテーションの基礎 ▷コミュニケーションデザイン	Sketch Lab
18	2/22	13:00～17:00	▷事業構想計画立案・ディスカッション・講評	▷多様な視点からのディスカッション ▷構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ	Sketch Lab
19	3/7	13:00～17:00	▷事業構想計画立案・ディスカッション・講評	▷多様な視点からのディスカッション ▷構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ	Sketch Lab
20	3/21	13:00～17:00	▷最終発表	▷富山における地域課題解決に資する理想的・具体的な事業構想計画の完成と自分事化 ▷プレゼンテーションスキルのブラッシュアップ ▷多様な視点からの講評を受けることによる視野視座の広がりや高度化	Sketch Lab

※ 上記は予定であり、内容やスケジュールは変更になる場合があります。

※ 研究員の事業構想計画の内容や進捗によっても、担当教員等の判断により講義内容を変更する場合があります。

※ 上記日程に関わらず、担当教員による個別指導を受けることが可能です。

個人情報の取り扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、

- ①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④本学からのお知らせ、
- ⑤これらに付随する業務を行う目的のみに事務局および担当教員が利用いたします。

問い合わせ先

申込やカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構

事業構想大学院大学 名古屋校

担当：大川、大羽

〒450-6627 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3

JRゲートタワー27階

TEL:052-541-8411

E-mail: pjlab@mpd.ac.jp

プロジェクト研究事業に関すること

富山市 スマートシティ推進課

〒930-8510 富山県富山市新桜町7番38号

TEL:076-443-2006

E-mail: smartcity-01@city.toyama.lg.jp